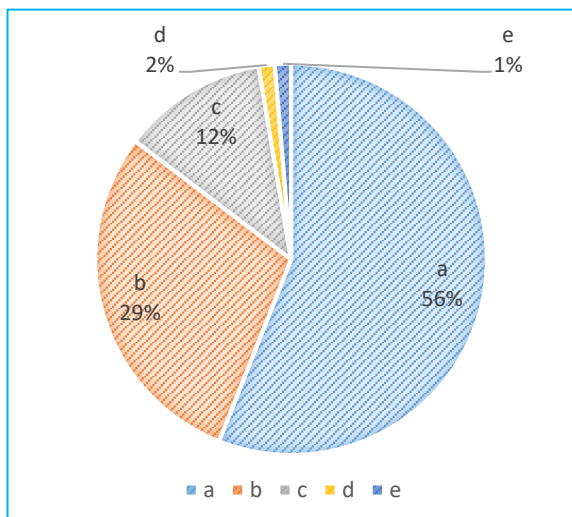


第24回 FDフォーラム
大学ブランド戦略成功のドライバーとは
 ～リクルート進学総研からみた愛知大学の現状と課題 中部私大の雄をめざして～
アンケート集計結果 （2024.10.24）

参加者 186名

1. 本講演はいかがでしたか



- a.大変良かった
- b.良かった
- c.ふつう
- d.あまり良くなかった
- e.良くなかった

a	b	c	d	e	計
42	22	9	1	1	75

2. よろしければ、1.の理由を教えてください。

●「a.大変良かった」と答えた人のコメント

- ◇ 専門で調査をしている方からのお話が大変ためになった。高校生からの目線についての話が面白かった。
- ◇ 愛知大学の現状が理解できた
- ◇ 数量的な根拠づけと方策を一体的に語っていただけたから。
- ◇ 非常にわかりやすい話だった。データをみて、納得した部分も多い。
- ◇ さまざまなデータが紹介され、説得的で分かりやすかった。
- ◇ 愛知大学が置かれている現状が明確に示されており、大いに参考になった。
- ◇ 興味深いデータが多く、とても勉強になりました。まだ短期間ですが、所属しているが当大学がどのようなブランディングをしたいのか、まったくよくわからないので、ご指摘のとおりだと思いました。
- ◇ 参考になる情報があつたため
- ◇ 本学の置かれている状況がよくわかった。
- ◇ 客観的なデータに基づき多角的に愛知大学の位置を知ることができた。
- ◇ たいへん興味深い内容でした。
- ◇ 本学に足りていないものがよく分かった。
- ◇ 知らなかったことを教えられた。
- ◇ すごく詳しく色々分析をしていただいたので面白かったです。
- ◇ 高校生を対象とする詳細なデータに基づく説得力のあるお話が効けた。
- ◇ 選ばれる大学に向けた様々な示唆が得られた。
- ◇ データに伴う考察が明確でわかりやすかった。
- ◇ 詳細なデータに基づいて分析しているし、大学のブランド構築に何が必要であるかなどについてご講演いただき、非常に興味深かったです。
- ◇ 貴重なデータを用いて、本学のポジションを知る機会になりました。
- ◇ 本学の特徴を的確にとらえてご講演いただき、とても腹落ちのするご講演だったから。

- ◇ 本学の認知の状況がよく理解できました。広い視点でお話を伺うことができ、大変参考になりました。
- ◇ 詳細なデータ分析
- ◇ 数多くの大学を見ている立場から、客観的な意見をいただけたのがよかったです。数値的なデータも勉強になることが多かったと思います。
- ◇ 4大学での相対位置などがよく分かった
- ◇ 時代に応じて変わり続けることができれば勝ち残れないという点、時代錯誤で情報のアップデートをできない人たちに繰り返し伝えてほしい。この大学では、都市度の高いところでは考えられないような慣習や認識に驚くことが多い。自覚がないから変化も期待できない。
- ◇ 愛知大学は高校生などからどのような印象を持っているかだいぶ参考になりました。
- ◇ 情報を見せるだけでなく、講師の切り取り方、見方があって、良かった。
- ◇ 調査結果に基づき、大変分かりやすく愛知大学が抱える課題について解説いただいた。
- ◇ 情報の信頼性が高い
- ◇ 本学にとって耳の痛い話もあったが、外部からどの様に見えるかが可視化された機会であったと思います。
- ◇ データに基づいて事実を分析しました
- ◇ 今の愛知大学への進学率をあげるために、何が重要なかがわかる講演でした。
- ◇ 知名度はあっても志願度が低い、南山、名城、中京の後塵を拝しているさまがアンケートから見る点がきた点は、有益であった。4つのブランド力を高めるドライバー（商品、キャリア、価値、強み）を定義して、高校生（特に高校2年生まで）への広報を進めていくことが重要である点は確かにそのとおりであると思った。
- ◇ マーケター側という特殊な視点であるが、本学の置かれた立場を内部以外から見たものに触れられる機会は貴重であると考えから。
- ◇ 具体的なデータに基づいて、対応策まで詳論してくれた。

●「b.良かった」と答えた人のコメント

- ◇ わかりやすかった。
- ◇ 大学教育の特徴や魅力を伝えることの重要性について
- ◇ 具体的な事例もあって、分かりやすかった。
- ◇ 自身の担当業務とかかわる部分も多くあったため
- ◇ 愛大の現状については予想通りであったが、南山大や中京大がどのように受け取られているのかの分析が興味深かった。
- ◇ 有意義な話を聴くことができた。
- ◇ 本大学がどう見られているのかを知ることができた。
- ◇ 本学の現在地と改革の方向性について再考する情報が多くあったから。
- ◇ 資料（PDF）を配布してほしいです。
- ◇ 現状や先の見通しについて、データを示しつつ、具体的なお話をしてくださったのが、とても面白かったです。
- ◇ 愛知大学の強みと弱み、機会と脅威が分かり易く示されていたため。
- ◇ 建学の精神だけでなく、Visionの話を合わせてしていかなければならないことに気づかせてくれたから。
- ◇ なんとなく感じていたことをデータを元に示してもらえたこと。
- ◇ 大学が抱える経営上の課題や、本学の弱点を客観的な視点から知ることができた。

●「c.ふつう」と答えた人のコメント

- ◇ ある意味、想定内の話が多かった。一方的な話の機会であるとしても、落ち着いて考える機会が必要であらう。
- ◇ 過去に同様のテーマの講演を聞いたことがあります。（別の演者で）愛知大学のケースを取り上げていたので参考になりました。

- ◇ 4校比較については大変参考になったが、もう少し結果の説明をしていただき、突っ込んだ話が聞きたかった。
- ◇ 教授会が長引き途中からの参加だったので前半部分が聞けなかったため。ただしブランド力の分析（知名度はあるけれど中身が分からない愛大）は本学の長年の伝統？を掴んでいると感じた。
- ◇ 情報を盛り込みすぎ。

●「d.あまり良くなかった」と答えた人のコメント

- ◇ ブランド力を把握するためには卒業生（対象となる教育サービスを受けた者）に対する調査が欠かせないはずですが、高校生に対する調査のみで講演が構成されていたから。

●「e.良くなかった」と答えた人のコメント

- ◇ やや中途半端だったのでは。社会（企業を含む）、高等学校、親とのギャップは・・・ではどうすればよいのか・・・。

3. 本講演を聞いて、今後の教育活動にどのように活かしていけばよろしいと思われますか。

- ◇ コロナ前以上に、対面教育をより向上させる必要があると思いました。
- ◇ 理系分野の高校生？の認知ランキングについて、2023年？に愛知大学がランクインしていたように思います。その理由が知りたいです（勘違いならすみません、ご放念ください）。
- ◇ 学部再編検討の参考
- ◇ 高校生向けの授業において、愛知大学について1分でアピールできるように工夫をしておきたいと思う。
なお、より教育レベルの高い内容ができるようにしたい。
- ◇ 自学科や自身の研究・教育ならではの特徴を社会に伝えていきたい。
- ◇ 大学経営はやはり経営能力の高い人に任せるべき。
- ◇ 本学の立ち位置や外部のイメージを認識しつつ大学での業務にあたらねばならないと感じた。
- ◇ オープンキャンパスに活かせればと思う
- ◇ 学生が学んでよかったと思うように、真摯に取り組みたい。
- ◇ 本学の強みを再検討し発信する方法を、全学で共有する。
- ◇ 本学は、トレンドへの対応が遅れがち、意思決定が遅い、という課題があると感じています。
今回の講演を機に、教職員それぞれが危機感を抱き、良い方向へ進むことを望みます。
- ◇ 本学の価値の明確化は、常任理事会で明確にしておろしていただきたい。教職員の意識統一を図り、全員が本学の価値を1分で説明できるようにならなければならない。
- ◇ 学生への対応
- ◇ 愛知大学のブランド（アピール）をどう伝えたいか考える。
- ◇ 本学の魅力・価値を1分間で表現できるような教育活動が実践出来たらと思う。
- ◇ 在学生や高校生以下の人と接する時の、背景知識になると感じました。
- ◇ 15回のコマ数を充足させるだけでなく、その教員ならではの特色のある講義を展開したい
- ◇ 競合他大学でも必ずしも提供できていない付加価値の高い教育を志向したい。
- ◇ 今行っている学生への教育や指導を漫然と行わず、組織で目ざす学生像を明確にしながら行っていく
- ◇ 学生のニーズを把握した上で教育を行うことが重要である。
- ◇ 本学はやはり立地、公務員等のブランドイメージは浸透しているものの、質的な特徴が認知されていないことを再認識しました。今後、ソフト面の充実を発信することの意識づけを行っていく必要があると思いました。
- ◇ 本学（学生ではなく大学自体）は真面目でおとなしいイメージがあるように思われるので、教育研究含めて、もっと大胆に面白いことを追求していいのではないかと思った。
- ◇ 一方的に学生に「伝える」教育ではなく、学生に「伝わる」教育を強く意識したい。

- ◇ 変えていくことも大切だが、これまでのやり方や本学の良さを変えずに保つべきこともあるかと思う。
 - ◇ 大学をどうしていきたいかということでしたので、在学生に対する教育をすすめながら、ブランド力をどこに置くのかについて意識しつつ励みたい。
 - ◇ 個人的には、各自の学びやスキルの成長や向上（それが小さいものであっても）をわかりやすくフィードバック方法の工夫したい。
 - ◇ 東海の中だけでの競争でなく、世界を見て、特にインドの学生にも愛知大学を志願してもらうにはどうしたらいいのか、考えるきっかけになった。教育活動においても、欧米だけでなく、インドなども視点も盛り込んでいこうと思った。
 - ◇ これらの現実や必要性を一人でも多くの教職員が共有・共感し、一人一人が大学の存続に危機感を持ち、大学全体で改革の機運をいかに高めるかが重要だと思う。
 - ◇ 学部教育としては、政策系の学部は数多あるなか「地域」が本学部の特徴である。それを強みとすべく（政策実践など）教育に活かす必要性を改めて痛感した。大学としては、入試課・広報課の入試広報部分を一体化して運用する、SNS担当の専従職員を置く、豊橋に分室を設置することなどが、さしあたりの戦略として検討すべきと考える。
 - ◇ 教員個人として、というよりも、カリキュラムをどんどん改良、改善していく必要があると思いました。これはかなり教員の側でも労力を要するものだと思いますが、やらないと取り残されていくことは明白です。
 - ◇ 各入試単位で「○○学部（学科）を選ぶ理由」を1分で話せるような資料を作成する。
 - ◇ それは難しい
 - ◇ 話を聞くと愛知大学は例えば南山大学とくればたらイメージは大分低いという印象がありました。もう少し大学のイメージの改善する方法案について聞きたいと思っています。
 - ◇ 卒業後、これを学んだと語れるようになってもらえるよう、一層の差別化に励む。
 - ◇ 自分自身の教育活動について。自分の裁量が活かせる科目においては、学生が面白いと思える授業内容や運営方法に工夫をこらしたいと思う。ただし、これは入学してからのことなので、入学する前の高校生に魅力を感じてもらうには、やはり、「愛知大学ならではの」を活かした魅力的な教育カリキュラム開発や、目玉のプログラムの導入などが必要であると思います。
- 「職員力」が重要であることは、すでに思い知っています。が、改革や変化を恐れ、「事なかれ主義」で「大学は大学、私は私、だから関係ない」的思考を持った教職員が多数存在することも事実です。主体的に動かない方々にどう、この問題を自分事として捉えていただき、アクターの1人になっていただけるのか。また、主体的に動いていても、報連相なくワンマンぶりを発揮し、周囲に迷惑をかけ、結局チームの連帯を乱す人もいますので、それも困っています。
- 職員として働いていても、愛知大学は、良い大学なのに自分を売るのが下手な地味な大学だ、という印象があります。せっかく良い人材がいて、リソースもあるのに、それを効果的に活用できていないと思います。大学のブランディングに関しては、理事、経営陣、広報にぜひ頑張っていたいただきたいと思います。
- ◇ オープンキャンパスや入試改革など、学部の取り組みに生かしていきたい。
 - ◇ 各先生方はそれぞれ頑張っていると思いますので、それを外部に対してどの様に見せるか、どの様にアピールするかについて執行部にイニシアチブを取っていただければと思います。
 - ◇ 外部への発信方法について検討する必要があると感じた。
 - ◇ 教職員は一丸になって頑張らなければなりません
 - ◇ 学部で教育されている科目の特徴をいかに出していくかが、大学の生き残りに必要であり、その参考になり
 - ◇ よい教育を施すことが、ブランド力の向上にもつながると思われるため、学生に有益な知識を与えることはもちろん、学生が創造力を高められるような授業を構築したい。
 - ◇ これまでと真逆なことをしていかなないと本学は立ち行かなくなってしまう。本学はやったように見せかけて、全く変わることがない組織であることが問題である。
- 職員に関していえば、学内にいる人材リソースを全く生かし切れていない。優秀な職員がいるにも関わらず、人事担当者や役職者の好き嫌いで自分たちのいうことを素直にきく人間ばかり登用している限り、改善するようには見せかけることしかできないと断言する。
- ◇ 教育活動とは関係ないですが、講演を聞いて思ったことです。
- 本学は、偏差値のわりに親御さんや企業の方からの評価が高いと感じている。これは、卒業生の社会での活躍の賜物だと思う。これを踏まえて、リカレント教育に注力してはどうだろうか。社会人からの評価が高い

愛知大学が、名古屋駅から徒歩圏内のキャンパスでリカレント教育を精力的に実施しているとすれば、かなりの宣伝、利益になると思います。

- ◇ 今回は個々の教員の教学内容に直接かわる話ではなかったように思う。
- ◇ 建学の精神というものを振り返ってみる必要がある。

4. 今後、どのようなテーマを希望されますか

- ◇ 経営目線も面白いが、学生対応などの実務に生きる話も聞いてみたい。なににせよ、専門で研究をしておられる方をお願いしたい。素人でもわかる内容だと時間がもったいなく感じる。
- ◇ 特になし
- ◇ 現在の高校の教育の現状がわかるテーマ
- ◇ 教養教育の方向性について
- ◇ 特に希望はないが、タイムリーな話題をお願いしたい。
- ◇ 引き続き同じテーマでもいいと思う。
- ◇ AIの効用と欠点について知りたい。
- ◇ 年次ごとの進展を確認する意味で、今回のようなテーマを繰り返すことも重要。
- ◇ 大人数講義における教育方法の工夫
- ◇ AIの教育への活用法
- ◇ 別に希望がないです。
- ◇ 生成AIぐらいしか今は思いつかない。
- ◇ 今回のテーマ、よかったです。動向は変わっていきますので、ある程度の期間ののちにまた聞けるといいなと思いました。
- ◇ 授業の回数（時間）という数値の枠にとらわれない優れた教育の実践例を聞きたい
- ◇ 学生のスマホ過剰使用問題とその対策について
- ◇ 大学の意義ある歴史を高校生にいかに伝えるか
- ◇ 本日の研修で大学の特徴を明確にして、受験生にそれが伝わるのが大事と学んだが、職員でありながら本学の特徴やウリがよくわからないところもある。それを共有できる機会が欲しい。
- ◇ 特になし。
- ◇ 大学間の連携、統合
- ◇ 企業や自治体が大学に何を求めているのか。こういった人材を育ててほしいと考えているのか。
- ◇ DX
- ◇ 教育活動に近いテーマと大学経営のテーマと交互にあるといいです
- ◇ 愛大の特性についての活し、例えばカリキュラムをレベルアップするための改善案についての講演を聞きたいと思います。
- ◇ AIを活用した授業運営
- ◇ ChatGPT関連
- ◇ 今日の関連テーマを企画してほしい
- ◇ 大学の新しい展開のために、今回のテーマに類似したテーマがいいと思いました。
- ◇ リベラルアーツの在り方
- ◇ 防災、教員・職員のキャリアなど。
- ◇ Moodle 2024の授業での活用事例